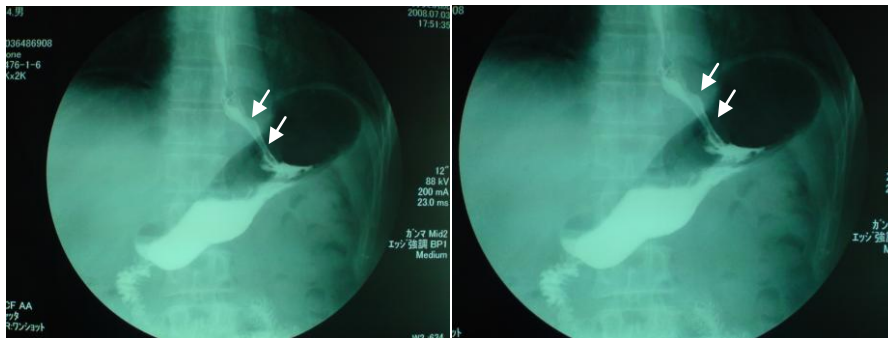


逆流性食道炎・胃食道逆流症・誤嚥性肺炎

逆流性食道炎を示した食道裂孔ヘルニアを有した 30 歳から 70 歳までの、男性 5 名、女性 2 名の計 7 名の患者さんに対して、腹腔鏡下胃食道逆流防止手術、Nissen 手術を行い全員に良好な結果を得ています。この手術は、腹腔鏡下手術という体に負担の少ない、傷の小さな手術で、おなかの食道末端に胃の一部を巻き付けることにより胃から食道への逆流をなくしてしまう手術です。アメリカなどでは非常に沢山の患者さんにこの手術が行われ良好な結果をもたらしています。



↓
↓
矢印は、食道裂孔ヘルニアが術後修復された所を示しています。ねた状態でも術前に見られた逆流は消失しています（当院で手術された 50 代男性の患者さんで、ここ数年の間に入院するほどの誤嚥性肺炎を 3 回患っていらっしゃいました。食道裂孔ヘルニアをお持ちでした）。